



作品名

利用者減少でも衰えない魅力、雨晴

コンセプト

完全自作で雨晴の絶景を再現

参考にした場所など

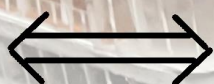
JR西日本氷見線・雨晴駅とその周辺

作品の見どころ



賑わう道の駅

道の駅雨晴は、国道が目の前を走っていて車でのアクセスが良く、車での観光客が多く訪れます。しかし、すぐに駐車場が満車になり、国道が渋滞するといった問題も起きているようです。そんな観光客で賑わう雨晴駅を再現するため、人形をかなり多く配置しました。全てをプラ材等から自作し、特に建物の丸みにこだわりました。床の木目はExcelで作成しています。



閑散とした雨晴駅

雨晴駅は、東京からのアクセスも、道の駅へのアクセスも良いにも関わらず利用客はかなり少ないです。閑散としている雨晴駅を表現するため、人形を少なめに配置しています。屋根瓦には3Dプリンターを、その他はプラ板やプラ棒を使用しています。また、ホームの柵の網目には虫取り網のネットを使用しています。駅舎周辺の背景板には鏡を貼っているため、是非鏡を通して細部までご覧ください。

その他のみどころ

○地形や風景も細かく表現



山や海は、実際の地形に近く、走行の支障が無いように表現しています。山は脱線復旧のため取り外し可能な構造になっています。海は、底や砂の色にもこだわり、調整を重ねました。海はレジンが漏れたり、砂が中々期待した色にならず特に大変でした。山頂の神社は、実際は遠いものの凝縮して再現しました。

○見た人を飽きさせない細かい作り込み



上:電話ボックス、下:踏切と「義経岩」

駅舎、道の駅周辺は特に細密度を上げた制作をしました。駅前の電話ボックスや駅の分岐器、信号機、道の駅に近い観光名所「義経岩」、そこ道駅を繋ぐ踏切などをミリ単位で設計して制作しました。骨の折れる作業でしたが、細かいところまで作り込んであるので、是非じっくりご覧ください。